

# HARMONY

金沢市立長田中学校3学年

2023 10/25発行

学年通信 第9号

## 集大成の演劇発表会

19日(木)、20日(金)に第76回演劇発表会が開催されました。脚本選定から、本番に至るまで多くの知恵と時間をかけてきました。泣いたり、笑ったりたくさんの苦楽を乗り越え、みんなでひとつのものを創り上げる大変さや楽しみも感じることができましたね。お忙しい中、ご来校いただいた方々、ライブ配信をご覧になられた方々、最後まで生徒を陰で支えて下さった方々に心より感謝いたします。裏面に一部感想を紹介します。

最優秀賞 5組



BN賞 1組



優秀賞 3組



1組 夕輝 ~僕の生きていた証~



4組 天国まで-アナタ、愛のために死ねますか



2組 Leaving School



5組 夏休み



3組 沈黙の陽炎



6組 マイ・ライフ



## 演劇発表会感想

まず始めに、BN賞という1番大きな賞をとることができて、とてもうれしかったです。演劇を鑑賞している時、他の3年のクラスの劇のメッセージがすごく伝わり、おもしろくて、演技がとても上手で見るたびに賞は取れないかもな...と置いていたけれど、賞をとれて、今まで最高の劇ができるようにがんばってきたことは、無駄ではなかったのだなと思いました。私は、「恵美」というヒロイン役をして、1,2年の時もキャストとしてステージに出たいけれど、あまり目立つような役ではなかったので3年になって大事な役になった時は、ちゃんとセリフをおぼえられるかや、役になりきることができるかがとても心配で不安だったけれど、同じキャストの人や演出、舞台監督と協力して劇を作っていくにつれて、最後までしっかりやりきろうと思いながら練習することができました。また本番では、舞台に出るまですごく緊張していたけれど自分の役を最後まで演じることができて、本番の場面転換の時では、机を運びやすくするために幕をどかしたり、小物をすばやく置いたりなど、クラス全体で協力している姿を見ることができて、とても良かったです。このクラスで協力するというのをこれからも続けて、受験勉強でクラスの仲間たちと支えあって、気持ちよく卒業までいけたらいいなと思いました。3年1組 新出彩純

演劇活動を通して2組の演劇は、先生と生徒の絆が分かるような演劇になったのではないかと思います。この演劇は先生と生徒の関わりの中で少しずつお互いをわかっていって、最後は先生と生徒がお互いのことが深いところまで分かり合えるストーリーだとキャストを演じる中で思いました。本番はみんな声も出ていて聞きとりやすかったし、練習のときよりもすごくよかったです。かんでしまったり忘れてしまった部分もあったけど、うまいこと終わったのでよかったです。賞がとれなくて悔しいけど2組のみんなの思い出に残る演劇になったのでよかったです。3年2組 小川姫菜羅

私は、演劇でたくさんのことを学ぶことができました。私は演出という仕事を初めてしました。最初はとても不安な気持ちで活動していました。クラス全体がうまくまとまらず指示通りに動いてくれませんでした。放課後練習のときもキャストは、セリフを間違えて笑ってしまったり、演劇に関係のない話をしていてまとめるのがとても大変でした。だが1回目の舞台稽古を終えたあたりからキャストにも危機感を感じてくれてようやく真面目に取り組むようになりました。それでもハプニングがたくさんありとても大変でした。ですが、本番に近づくほどキャストの演劇が上手になっていきました。本番も色々事件があり不安でしたが、たくさんの先生に「3組すごかった」や「感動して涙を流しながら見てた」などの感想をもらって少し安心したし、とてもうれしかったです。結果は、優秀賞というすばらしい賞をもらうことができました。このような賞がもたらしたのは、これまでたくさん練習してたくさん失敗してきたからこそもらえたのだと思います。3年間の演劇活動の中で1番印象に残ったと思います。大変でつらい事もたくさんあって、演劇活動がいやになったこともありましたが、それもいい思い出になったと思います。中学校生活の中で最高の思い出ができたと思っています。3年3組 今井愛佳

今年は、中学校で最後の演劇でみんな気合いが入っていたと思うし、キャストもスタッフも全員が協力して一つの劇を作りあげることができたと思います。脚本を決めてから約5ヶ月間、いろいろなことがありました。最初は、みんなバラバラでまとまりのない集団だったけれど、舞台稽古やSSの授業を通して、様々なことを学んだり、みんなの成長を感じたりすることができました。スタッフも一生懸命がんばって、キャストを支える存在だったと思うし、放課後も残って作業してくれたり、本当にクラス一丸で作りあげた劇だったなと思います。本番では、2日目の大トリという緊張するクジを引いてしまったけど、キャストの人達は今まで練習してきたことをこれでもかというほどに出し切ったのではないかなと思うくらいすばらしい劇だったと思います。

結果として、1つの目標であった賞をとることはできなかったけれど、それよりも大切なものを見つけることができたと思うし、クラスの仲がより深まったと思います。自分はこれまで、演出と舞台監督をやったことがあったけど、一度も表彰されたことなく今年こそはステージに上がるという目標を持って挑みました。結果、賞にはとどかなかったけれど、約5ヶ月みんなで団結して、中学最後の演劇を最高の形でやり切ることができました。3年4組 上野太陽

私は初めて舞台監督をしてみて、その大変さを改めて知りました。最初は不安でいっぱい、みんながついてきてくれるか心配だったけど、みんなやる気まんまんで楽しんで練習してくれて良かったです。また、楽しむときと、真剣に練習するときとをしっかり切り替えてくれたので、やりやすかったです。今回、みんなが協力してくれたおかげでいい劇にすることができたと思うので、私はこれからのたとえ自分がまとめ役ではなくても、まとめてくれる人のために何かしてあげられる人になりたいと思いました。また、本番ではじめて、30分以内に劇を終わらせることができて、そのうえ3年の最優秀賞をとることができたのはみんなのおかげだと思うし、このクラスで誰か一人でも欠ければ成しとげることのできないものだったと思うので、クラスのみんなに感謝したいです。中学校生活最後の行事である演劇を、このメンバーでつくりあげることができて、本当に嬉しいしよかったです。この雰囲気、クラスで協力して、受験も乗り越えていけると思うので頑張りたいです。3年5組 芝垣咲良

ブラボー。最高の劇、最高の思い出になったと思う。そんな劇にするために一ヶ月と半分。よりよいものになるよう努力してきた。最初はまとまりのない、見れない劇だった。少し焦っていたそして苛立っていた。けれど本番はどうだろう、全員本気だった。だからこそ、笑いや感動があったと思う。「まだまだ演劇活動をしたい」。そんな思いまで込み上げてきた。終わってしまったのが寂しかったからだと思う。でもたくさんのことを学ぶことができた。1つ目、仲間と協力し合うことで自分にとってかけがえのない思い出ができること。ちょっとスタートダッシュが遅かった。でもエンジンがかかった僕らは急速にまとまっていった。本番が終わってからもこんな経験は今しかできない貴重なものだと思えた。みんなには感謝してもしきれない。ありがとう。2つ目に何事にも挑戦していくべきということ。劇の練習が始まったころは「本当にキャストになってよかったのだろうか」と心が揺れていた。しかし、練習を重ねていくことで自分の思いはただ1つになった。キャストになって本当に良かった。これからの人生いろんな道、選ばなくてはならない道があると思う。そこでも自分にとってプラスになる道に挑戦していきたい。たとえそれがつらい道であっても。そんな道の先にあるのが自分だけの7番目の生き方だと思う。マイライフ。3年6組 小森遼人